

2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月13日

上場会社名 株式会社 AKIBAホールディングス
 コード番号 6840 URL <https://www.akiba-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 馬場 正身
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 五十嵐 英
 四半期報告書提出予定日 2020年11月16日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3541-5068

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	6,468	20.2	242	8.1	244	4.6	140	70.6
2020年3月期第2四半期	5,381	14.0	263		256		478	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 142百万円 (71.0%) 2020年3月期第2四半期 491百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	153.12	
2020年3月期第2四半期	521.32	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	6,902	1,993	26.6	2,000.40
2020年3月期	6,958	1,850	24.4	1,847.52

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,837百万円 2020年3月期 1,697百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	7.4	650	1.2	650	2.1	330	49.6	359.27

連結業績予想については、本日(2020年11月13日)公表の「2021年3月期 通期連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	919,256 株	2020年3月期	919,256 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	763 株	2020年3月期	724 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	918,521 株	2020年3月期2Q	918,662 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、四半期決算補足説明資料については、当社ウェブサイト(<https://www.akiba-holdings.co.jp/>)に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、経済活動が大幅に制限された影響を受けて景気が大きく後退いたしました。緊急事態宣言が解除され徐々に経済活動が再開されたことにより、企業業績の底入れの兆しが見えつつありますが、急速な回復は見込めず、依然として厳しい状況が続くことが懸念されます。一方で、世界経済においては、経済活動が段階的に再開されたことで景気回復の動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症の再流行の懸念もあり、景気の先行きは非常に不透明な状況で推移いたしました。

そのような状況において当社グループは、各事業セグメントにおいて新規案件の獲得、新規商材の検討、対面に頼らない営業手法の構築に努めるほか、新規事業として栃木県日光市鬼怒川温泉所在のペット同伴温泉旅館「鬼怒川絆」の開業準備を進めてまいりました。また、新規事業領域への進出のため、M&Aの検討にも取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、6,468百万円（前年同期比20.2%増）、営業利益は242百万円（前年同期比8.1%減）、経常利益は244百万円（前年同期比4.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は140百万円（前年同期比70.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① メモリ製品製造販売事業

メモリ製品製造販売事業においては、新規顧客の開拓、取扱商品の見直しを図るとともに、IoTソリューション事業の拡大にも注力して参りました。第1四半期に大きく伸びた在宅勤務・テレワーク需要のためのPC需要に伴うメモリモジュールやCPUの販売につきましては、第2四半期以降は安定的に推移しております。また、企業活動の停滞により法人向けメモリ需要が弱い一方で、IoTソリューション事業は新規案件の獲得が進むなど順調に推移していることから、全体としては売上、利益とも伸長しており、この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,379百万円（前年同期比38.0%増）、営業利益は125百万円（前年同期比102.9%増）となりました。

② 通信コンサルティング事業

通信コンサルティング事業においては、IoT/5Gマーケットに向けた新たな取り組み、外注先等との連携の強化による更なる工事体制の強化、WEB戦略の強化、コンタクトセンターの人員体制強化に努めてまいりました。主力の通信建設工事事業においては、従来の屋内電波対策に加えて新規の基地局関連工事も獲得するなど、拡大基調にあります。コンタクトセンター事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響による案件の終了や規模の縮小もある一方で、新規案件の獲得もあって前期比で売上微増となりました。この結果、前期に比べて事業会社が1社減っているものの、パディネットの事業拡大により売上、利益とも前期比で微減にとどまり、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,678百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益168百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

③ HPC事業

HPC事業においては、緊急事態宣言の発令に伴い主要顧客である大学、企業が在宅となったことや学会、シンポジウムが中止となったことで対面営業が難しく、営業面では非常に厳しい状況で推移いたしました。緊急事態宣言の解除後も営業の機会が限られるなど難しい状況は続いておりますが、徐々に受注も増えており、例年業績が伸びる下期に向けて、営業の競争力強化と社内の業務管理システムの整備に努めております。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は421百万円（前年同期比19.1%減）、営業利益18百万円（前年同期比67.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は6,609百万円となり、前連結会計年度末6,731百万円と比べ121百万円減少いたしました。

主な増減要因は、現金及び預金の増加995百万円、受取手形及び売掛金の減少633百万円、商品及び製品の減少552百万円であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は250百万円となり、前連結会計年度末226百万円と比べ24百万円増加いたしました。

主な増減内訳は、建物の増加29百万円、工具、器具及び備品の増加9百万円であります。

(繰延資産)

当第2四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は41百万円であります。これは第1四半期連結会計期間より新たに新規事業に伴う費用を開業費として計上したことによります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は4,374百万円となり、前連結会計年度末4,582百万円と比べ208百万円減少いたしました。

主な増減内訳は、買掛金の減少164百万円、短期借入金の増加160百万円、未払法人税等の減少130百万円であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は533百万円となり、前連結会計年度末524百万円と比べ9百万円増加いたしました。

主な増減内訳は、長期借入金の増加9百万円、社債の減少8百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,993百万円となり、前連結会計年度末1,850百万円と比べ142百万円増加いたしました。

主な増減内訳は、利益剰余金の増加140百万円であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）残高は、前連結会計年度末に比べ991百万円増加し、3,562百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、879百万円（前年同期は70百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益244百万円、売上債権の減少633百万円、たな卸資産の減少490百万円といった増加要因があった一方で、仕入債務の減少164百万円、法人税等の支払額210百万円等の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は59百万円（前年同期は433百万円の増加）となりました。主な原因は、有形固定資産の取得による支出51百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は176百万円（前年同期は451百万円の増加）となりました。主な原因は、短期借入金の純増加160百万円、長期借入れによる収入180百万円、長期借入金の返済による支出155百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、この度、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき業績予想を算定いたしました。

なお、当該予想の詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期 通期連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,584,941	3,579,961
受取手形及び売掛金	2,714,165	2,081,031
商品及び製品	1,240,793	688,388
仕掛品	11,974	76,589
原材料	75,917	73,613
その他	107,194	111,496
貸倒引当金	△3,111	△1,130
流動資産合計	6,731,875	6,609,951
固定資産		
有形固定資産		
建物	51,449	84,318
減価償却累計額	△4,111	△7,200
建物(純額)	47,338	77,117
車両運搬具	6,324	6,324
減価償却累計額	△263	△1,778
車両運搬具(純額)	6,060	4,545
工具、器具及び備品	60,764	76,827
減価償却累計額	△36,079	△42,861
工具、器具及び備品(純額)	24,685	33,966
有形固定資産合計	78,084	115,629
無形固定資産		
のれん	—	2,841
ソフトウェア	6,478	5,769
無形固定資産合計	6,478	8,610
投資その他の資産		
長期未収入金	34,912	31,912
その他	141,940	121,225
貸倒引当金	△35,283	△26,583
投資その他の資産合計	141,569	126,554
固定資産合計	226,132	250,795
繰延資産		
開業費	—	41,277
繰延資産合計	—	41,277
資産合計	6,958,007	6,902,025

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,116,146	951,686
短期借入金	2,600,000	2,760,000
1年内返済予定の長期借入金	282,706	297,502
1年内償還予定の社債	16,000	16,000
未払法人税等	200,916	70,867
賞与引当金	79,035	65,371
役員賞与引当金	32,500	—
その他	255,637	213,141
流動負債合計	4,582,941	4,374,568
固定負債		
長期借入金	412,201	421,645
社債	56,000	48,000
役員退職慰労引当金	—	4,860
退職給付に係る負債	30,931	33,924
資産除去債務	20,420	21,920
その他	4,771	3,608
固定負債合計	524,323	533,958
負債合計	5,107,264	4,908,527
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,000	700,000
資本剰余金	471,824	471,824
利益剰余金	526,914	667,769
自己株式	△2,041	△2,235
株主資本合計	1,696,698	1,837,358
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	310	—
その他の包括利益累計額合計	310	—
非支配株主持分	153,733	156,139
純資産合計	1,850,742	1,993,497
負債純資産合計	6,958,007	6,902,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	5,381,241	6,468,851
売上原価	4,457,983	5,568,374
売上総利益	923,257	900,476
販売費及び一般管理費	659,523	657,967
営業利益	263,734	242,508
営業外収益		
受取利息及び配当金	125	116
為替差益	7,238	—
受取家賃	4,177	7,814
営業支援金収入	224	—
補助金収入	—	6,000
保険解約返戻金	34,546	—
雑収入	486	1,009
営業外収益合計	46,799	14,941
営業外費用		
支払利息	6,049	7,316
為替差損	—	5,279
役員退職慰労金	40,000	—
支払手数料	6,810	208
雑損失	1,290	50
営業外費用合計	54,149	12,854
経常利益	256,383	244,595
特別利益		
関係会社株式売却益	365,576	—
特別利益合計	365,576	—
税金等調整前四半期純利益	621,960	244,595
法人税、住民税及び事業税	133,369	88,453
法人税等調整額	△2,231	13,086
法人税等合計	131,138	101,539
四半期純利益	490,822	143,055
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,906	2,405
親会社株主に帰属する四半期純利益	478,916	140,650

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	490,822	143,055
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	892	△310
その他の包括利益合計	892	△310
四半期包括利益	491,714	142,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	479,808	140,339
非支配株主に係る四半期包括利益	11,906	2,405

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	621,960	244,595
減価償却費	5,499	12,395
のれん償却額	9,197	258
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△645	△1,980
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,535	△13,664
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,341	2,993
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,000	△32,400
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	4,860
関係会社株式売却損益(△は益)	△365,576	—
補助金収入	—	△6,000
保険解約返戻金	△34,546	—
受取利息及び受取配当金	△125	△116
支払利息	6,049	7,316
為替差損益(△は益)	△1,580	7,406
売上債権の増減額(△は増加)	344,225	633,133
たな卸資産の増減額(△は増加)	△242,898	490,093
仕入債務の増減額(△は減少)	10,988	△164,459
未収入金の増減額(△は増加)	△81,657	△985
前渡金の増減額(△は増加)	△5,825	1,812
長期未収入金の増減額(△は増加)	2,917	3,000
未払金の増減額(△は減少)	△20,319	△29,713
未払費用の増減額(△は減少)	△5,930	1,799
前受金の増減額(△は減少)	2,019	△335
未収消費税等の増減額(△は増加)	7,511	△5,575
未払消費税等の増減額(△は減少)	△20,930	△13,277
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	5,238	△8,371
その他	7,555	561
小計	225,932	1,133,346
利息及び配当金の受取額	125	116
利息の支払額	△6,351	△8,268
法人税等の支払額	△149,493	△210,195
開業費の支払額	—	△41,277
補助金の受取額	—	6,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	70,212	879,721

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,410	△51,986
無形固定資産の取得による支出	△2,010	△300
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	382,802	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,741	△1,976
貸付けによる支出	△10,000	—
貸付金の回収による収入	—	1,907
事業譲受による支出	—	△3,100
定期預金の預入による支出	△5,500	△8,400
定期預金の払戻による収入	2,400	4,800
保険積立金の積立による支出	△366	△366
保険積立金の解約による収入	79,438	—
その他	75	221
投資活動によるキャッシュ・フロー	433,686	△59,200
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	252,000	160,000
短期借入れによる収入	10,000	—
短期借入金の返済による支出	△50,000	—
長期借入れによる収入	330,000	180,000
長期借入金の返済による支出	△169,510	△155,760
社債の発行による収入	80,000	—
社債の償還による支出	—	△8,000
自己株式の取得による支出	△517	△194
財務活動によるキャッシュ・フロー	451,972	176,045
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△5,146
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	955,871	991,419
現金及び現金同等物の期首残高	1,569,868	2,571,439
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,525,740	3,562,858

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1.
	メモリ製品 製造販売 事業	ウェブソリ ューション 事業	通信コンサ ルティング 事業	HPC事業	小計		
売上高							
外部顧客へ売上高	3,173,639	15,908	1,671,479	520,213	5,381,241	—	5,381,241
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	205	47,302	410	47,917	△47,917	—
計	3,173,639	16,113	1,718,782	520,623	5,429,159	△47,917	5,381,241
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	62,023	△1,371	176,935	56,394	293,982	△30,247	263,734

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△30,247千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△127,764千円及びその他調整額97,516千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。その他調整額は、主にセグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料等の消去であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「ウェブソリューション事業」につきましては、2019年7月1日より、同事業を単独で営んでおりました株式会社エッジクルーの全事業を株式会社バディネットに事業移管を行いました。その結果、前第2四半期連結会計期間以降は、「ウェブソリューション事業」は「通信コンサルティング事業」に統合されますが、前第1四半期連結会計期間までは存続していたため、当該期間までの実績を報告セグメント上「ウェブソリューション事業」に記載しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3.	調整額 (注) 2.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1.
	メモリ製品 製造販売 事業	通信コンサル ティング事業	HPC事業	小計			
売上高							
外部顧客へ売上高	4,379,022	1,668,635	421,192	6,468,851	—	—	6,468,851
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	9,932	—	9,932	—	△9,932	—
計	4,379,022	1,678,568	421,192	6,478,783	—	△9,932	6,468,851
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	125,858	168,619	18,164	312,642	△2,207	△67,925	242,508

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△67,925千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△140,356千円及びその他調整額72,431千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。その他調整額は、主にセグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料等の消去であります。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。